



# 保健師だより



## ～がん検診 愛する家族への贈りもの～ 1年に1回はがん検診!!

- 「まさか自分がかんになる訳がない」
- 「自分にはまだ必要ない」 「仕事を休んでまで受けたくない」
- 「胃が悪いのは知っているし」 「痔だし」 「面倒くさい」
- 「ひっかかって病院で検査すればなんともないし検診は意味がない」
- 「具合が悪いと思ったら病院に行けばいいし」



このように思っていないですか。特に働き盛りの人に多い検診を受けない理由です。そもそも検診は症状がない人が受けるものです。早期のがんはほとんど症状がなく検診を受けて初めてみつかるものです。

日本人の2人に1人が一生のうちに「がん」と診断され3人に1人ががんで亡くなります。その一方で、がん検診の受診率は国が目標としている50%をはるかに下回る30%程度。佐井村は20%代の受診率です。7割以上の方が、がん検診を受けていません。

青森県が短命県である大きな原因は働き盛りの世代である40代・50代での死亡率が増えてくることにあります。若い世代ががん検診を受けて早期発見・早期治療につなげることが、短命県返上のための大きなポイントです。

今年度の集団検診は終了しましたが、40歳以上であれば胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん検診は大間病院で無料で受診することができます。今年度検診を受けていない方には『個別健診受診券』を送っていますので、この機会に受けましょう。

また、職場検診の項目にがん検診が含まれていない場合も、ぜひ受診しましょう。

## 高齢者の肺炎球菌ワクチン予防接種助成

10月1日から高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチン予防接種が任意接種から定期接種となり、接種できる対象年齢が変更になりました。※平成21年度から平成25年度に接種した方は対象外です。

対象者は、①65歳

- ②60～64歳で心臓、腎臓、呼吸器機能に自己の身の周りの日常生活が極度に制限される程度の障害がある方、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害がある方

※経過措置として平成30年度までは、各年度に70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳となる方も対象となります。(平成26年度は101歳以上の方も対象となります)

※対象となる方には個別にお知らせします。

1人4,000円を上限として接種費用の助成を行います。接種した医療機関窓口で全額お支払い後、役場住民福祉課福祉・健康づくり部門へ申請してください。

## 成人風しん予防接種費用助成金交付事業

関東地方や近畿地方を中心に2年程前から成人の風しんが流行しています。妊娠初期に風しんに感染すると胎児が先天性風しん症候群(難聴、心疾患、白内障、緑内障、発達障害など)に罹患する可能性が高くなります。妊娠中は予防接種が受けられないため、今後妊娠を希望する女性や妊婦の同居家族、夫などを対象に風しん抗体検査と予防接種費用の全額助成を実施します。

※風しんワクチン、麻しん風しん混合ワクチンの予防接種を受けている方は対象になりません

申請期限：平成27年4月30日まで(平成26年4月1日から平成27年3月31日までに受けたもの)

【お問合せ】住民福祉課 福祉・健康づくり部門